

雲仙市文化財調査報告書 第10集

nabeshimajinyaato  
**鍋島陣屋跡**

—重要文化財「旧鍋島家住宅長屋門ほか4棟」

保存修理工事に伴う発掘調査報告—



2012

長崎県雲仙市教育委員会





国重要文化財「旧鍋島家住宅」（2月末 緋寒桜の咲くころ）長屋門↑ 奥の茶色の屋根が隠居棟

雲仙市文化財調査報告書 第10集

nabeshimajinyaato  
**鍋島陣屋跡**

－重要文化財「旧鍋島家住宅長屋門ほか4棟」  
保存修理工事に伴う発掘調査報告－

2012

長崎県雲仙市教育委員会





国選定重要伝統的建造物群保存地区「神代小路」及び鶴亀城（神代城）跡（平成15年撮影）  
赤丸部分が「鍋島陣屋跡」

巻頭図版②



神代鍋島家菩提寺「常春寺」上空  
より有明海を望む

1



旧鍋島家住宅と庭園↑

長屋門の石塀↓



緋寒桜



卷頭図版④



文久二年（1862）建造 長屋門庭園側（写真提供 公益財団法人 文化財建造物保存技術協会）



万延元年（1860）建造 隠居棟（写真提供 公益財団法人 文化財建造物保存技術協会）



長屋門出土遺物



主屋・隠居棟出土遺物



## 発行にあたって

このたび平成 22 年度・平成 23 年度に実施しました、重要文化財「旧鍋島家住宅長屋門ほか 4 棟」保存修理工事に伴う鍋島陣屋跡発掘調査の報告書を発行することになりました。当市は平成 17 年 10 月 11 日（10 月 11 日）に 7 町（国見町・瑞穂町・吾妻町・愛野町・千々石町・小浜町・南串山町）が合併して誕生し、「豊かな大地・輝く海とふれあう人々で築くたくましい郷土」の実現を目指しています。

鍋島陣屋跡は島原半島の最北端、雲仙市国見町神代小路地区に位置し、中近世の城郭跡である鶴亀城（神代城）跡東脇の武家町「小路地区」内にあります。江戸期に建てられた隠居棟や長屋門、近代和風の重厚な主屋や庭園（総称：旧鍋島家住宅〈通称：鍋島邸〉）など、地区内の中心となる施設であり、江戸期から現代まで続く「神代鍋島家」の陣屋であります。平成 16 年 10 月、神代鍋島家第 18 代御当主より屋敷群を市へ寄贈いただき、平成 19 年 6 月には国の重要文化財に指定されました。また、武家町の「小路地区」は、陣屋の建物群とともに往時の風情を残すまちなみとして、平成 17 年 7 月には国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けております。

今回の調査は、旧鍋島家住宅の保存修理工事において、建物の全解体修理を行う、長屋門・主屋の一部（家政部）及び隠居棟部分について行いました。いずれの建物も地上部分のみならず、基礎部分の歪みも生じており、地盤改良工事が必要と判断されました。現陣屋である旧鍋島家住宅の地下には、それ以前に建てられた陣屋跡や、更に古くは、陣屋脇の鶴亀城（神代城）跡を築いた、中世在地豪族「神代氏」関連の遺跡の存在も予想されました。平成 22 年度には長屋門、平成 23 年度には主屋・隠居棟の発掘調査を実施し、以前の建物の基礎や地盤改良の跡などと共に、地鎮のためと考えられる、墨書き器なども発見されました。当時の人々の生活や陣屋を中心とした神代小路のまちづくりの一端を垣間見ることができました。

雲仙市では地域発展を目指して、各種の公共事業を行っております。今回の工事は通常の開発事業とは異なり、歴史資産の継承を目的としたものです。発掘調査において陣屋成立の課程が、一部ではありますが判明したことは、今後の保護・活用にむけて大きな財産となりました。このような祖先の貴重な文化遺産を保護し、これを後世に伝えることは、私たちに課せられた重要な責務であり、本市では、今後とも文化財の保護・活用のために、遺跡発掘などの各種調査を行っていきたいと考えております。調査の成果を公開する一つの手立てとして報告書を作成いたしましたが、遺跡の宝庫といわれる本市にとりましては、貴重な歴史と文化を理解するうえで大きな役割を果たすものと期待しております。

最後になりましたが、今回の調査に当たり、地元地区の皆様、工事関係者の皆様、大学・博物館関係の諸先生方ならびに長崎県教育委員会学芸文化課の皆様からのご指導に衷心から感謝申し上げ、発行のことばといたします。

平成 24 年 3 月 28 日

雲仙市教育委員会  
教育長 塩田 貞祐

## 例

1. 本報告は平成 22 年度及び平成 23 年度に実施した重要文化財「旧鍋島家住宅長屋門ほか4棟」保存修理工事に伴う、長崎県雲仙市国見町神代に所在する鍋島陣屋跡の発掘調査の報告である。
2. 調査は雲仙市教育委員会が担当した。調査は下記の期間実施した。

2010年12月22日～2011年3月31日

2011年5月20日～2011年9月30日

3. 調査体制は次のとおりである。

雲仙市教育委員会（平成 22 年度）

教育長 塩田 貞祐  
教育次長 山野 義一  
生涯学習課長 吉川 俊弘  
課長補佐 金子 悅治  
文化財班班長 田中 卓郎  
文化財班参事補 江崎 亮太  
文化財班係長 辻田 直人  
文化財班主事 富永 康史  
文化財調査員 大野 瑞恵・村子 晴奈  
竹田 将仁  
文化財整理員 早稲田一美・柳原亜矢子・  
小笠 智枝  
調査担当 辻田・竹田

雲仙市教育委員会（平成 23 年度）

教育長 塩田 貞祐  
教育次長 山野 義一  
生涯学習課長 村山 岩穂  
課長補佐 金子 悅治  
課長補佐 田中 卓郎  
文化財班参事補 江崎 亮太  
文化財班参事補 辻田 直人  
文化財班主事 富永 康史  
文化財調査員 村子 晴奈・竹田 将仁  
文化財整理員 早稲田一美・柳原亜矢子・  
小笠 智枝  
調査担当 辻田・竹田

## 言

4. 遺物の接合は柳原・早稲田・小笠・竹田が行い、遺物の実測は村子・竹田が行い、遺構・遺物挿図のトレースは早稲田が行った。挿図の編集・作成は早稲田・竹田・辻田が行い、写真撮影は現地調査・掲載遺物は竹田が行った。計測表・図版の編集は柳原が行った。
5. 現地での遺構の実測図作成及び遺物実測の一部は株式会社埋蔵文化財サポートシステム長崎支店に委託した。
6. 空中写真撮影業務はリモートセンシング有限会社スカイサーベイ九州に委託した。
7. 本遺跡の遺物及び写真・図面等は雲仙市歴史資料館 国見展示館で保管している。
8. 本書で用いた方位はすべて真北であり、国土座標は世界測地系による。
9. 現地調査および本書の刊行にあたり多くの方々からご助言いただいた、記して謝意を表します。  
宮本雅明(九州大学大学院)、林 一馬(長崎総合科学大学)、公益財団法人 文化財建造物保存技術協会、長崎県学芸文化課、長崎県考古学会、神代小路自治会、株式会社鍋島林業、神代小路まちなみ保存会、星野建設株式会社、有限会社石原建設、ナガタ工業、雲仙市観光物産まちづくり推進本部。(順不同)
10. 本書の執筆は辻田・竹田が分担し、各章及び各節文末に執筆者名を記した。
11. 本書の編集は辻田・竹田による。

# 目 次

中 表 紙

巻 頭 図 版

発行にあたって

例 言

本 文 目 次

挿 図 目 次

表 目 次

図 版 目 次

第1章 調査の経緯 (辻田) ······	1頁
第1節 発掘調査にいたる経緯 ······	1頁
第2節 発掘調査の方法 ······	1頁
第3節 遺跡の地理的・地形的・歴史的環境 ······	2頁
第2章 平成22年度 長屋門発掘調査 ······	4頁
第1節 長屋門 土層堆積状況 (竹田) ······	4頁
第2節 長屋門 検出された遺構 (竹田) ······	6頁
第一面 検出遺構 (竹田) ······	6頁
第二面 検出遺構 (竹田) ······	8頁
長屋門石塀について (辻田) ······	13頁
第3節 長屋門 検出された遺物 (竹田) ······	15頁
第3章 平成23年度 主屋・隠居棟発掘調査 (竹田) ······	23頁
第1節 主屋・隠居棟 土層堆積状況 ······	23頁
第2節 主屋・隠居棟 検出された遺構 ······	27頁
第一面 検出遺構 ······	27頁
第二面 検出遺構 ······	30頁
第三面 検出遺構 ······	34頁
第四面 検出遺構 ······	36頁
第3節 検出された遺物 ······	38頁
第4章 まとめ ······	46頁
第1節 概要 (竹田) ······	46頁
第2節 まとめ (竹田) ······	47頁
付録 平成18年度の調査報告 (辻田) ······	50頁
遺物観察表 ······	61頁

図 版

## 挿図目次

第 1 図 遺跡位置図(1/20,000)	3
第 2 図 調査区配置図 (1/5,000) ······	3
第 3 図 長屋門土層堆積状況 (1/80) ······	5
第 4 図 長屋門第一面検出状況 (1/160) ······	6
第 5 図 SX-1 (長屋門) 平面・断面図 (1/40) ···	7
第 6 図 SX-2 (長屋門) 平面・断面図 (1/40) ···	7
第 7 図 長屋門第二面検出状況 (1/160) ······	8
第 8 図 北下屋部栗石地業検出状況 (1/50) ···	8
第 9 図 帯状石列遺構 (1/100) ······	9
第 10 図 4 区石列状遺構 (1/50) ······	10
第 11 図 8 区石積み状遺構平面・断面図及び土層 堆積状況 (1/50) ······	10
第 12 図 門部硬化面・石列遺構平面・断面図 立面図(1/80) ······	12
第 13 図 長屋門石屏実測図 (1/200) 及び写真 ·····	14
第 14 図 長屋門出土遺物 (土師器①～④・木札) (1/3) ······	19
第 15 図 SX-1 (長屋門)・SX-2 (長屋門) 出土遺 物 (1/3) ······	20
第 16 図 長屋門出土遺物 (土師器・瓦質土器) (1/3) ······	21
第 17 図 長屋門出土遺物 (陶器・磁器) (1/3) ···	22
第 18 図 主屋土層堆積状況 (1/50) ······	25
第 19 図 隠居棟土層堆積状況 (1/50) ······	26
第 20 図 主屋・隠居棟第一面平面図 (1/160) 及び 土師器出土状況平面・断面図 (1/40) ······	28
第 21 図 16区埋め甕遺構平面・断面図 (1/20) ···	29
第 22 図 第一面13・14区遺構検出状況 (1/80) ···	29
第 23 図 主屋・隠居棟第二面平面図 (1/160) ···	30
第 24 図 主要部現建物栗石地業及び現建物関連 遺構 (1/80) ······	31
第 25 図 15 区・16 区遺構検出状況 (1/80) ···	32
第 26 図 14 区土坑群検出状況 (1/50) ······	33
第 27 図 13 区石列遺構③・溝状遺構 (1/50) ···	33
第 28 図 隠居棟第三面平面図 (1/160) ······	34
第 29 図 隠居棟 (浴室部) 17・18 区第三面検出 遺構平面・断面図 (1/80) ······	35
第 30 図 隠居棟 (主要部) 20・21・22 区第三面 検出遺構平面・断面図 (1/80) ······	36
第 31 図 隠居棟 (主要部) 21・22 区第四面検出 遺構平面・断面及び 22 区北側土層堆積 状況 (1/50) ······	37
第 32 図 主屋・隠居棟出土遺物 (土師器No.1～No. 4・土坑 1) (1/3・1/6) ······	42
第 33 図 主屋・隠居棟出土遺物 (埋め甕・土坑 10・土師器・瓦) (1/3・1/6) ······	43
第 34 図 主屋・隠居棟出土遺物 (陶器・磁器) (1/3) ······	44
第 35 図 主屋・隠居棟出土遺物 (磁器・タイル ・ガラス瓶) (1/3) ······	45
第 36 図 平成 18 年度の調査区配置図 ······	50
第 37 図 平成 18 年度調査時土層図 (1/200・1/100) ······	52
第 38 図 平成 18 年度調査検出遺構配置図 (1/200) ······	53
第 39 図 土坑実測図 (1/50) ······	54
第 40 図 通路跡石列 (1/50) ······	55
第 41 図 掘立柱建物 (1/50) ······	56
第 42 図 検出された遺構の変遷 ······	57
第 43 図 土層堆積の変遷 (1/100) ······	58

## 表 目 次

第 1 表 長屋門出土遺物計測表 ······	61
第 2 表 主屋・隠居棟出土遺物計測表 ······	63

## 図版目次

中表紙図版 重要文化財「旧鍋島家住宅」(2月末 緋寒桜の咲くころ)

- 卷頭図版① 国選定重要伝統的建造物群保存地区「神代小路」及び鶴亀城(神代城)跡(平成15年撮影)  
卷頭図版② 神代鍋島家菩提寺「常春寺」上空より有明海を望む  
卷頭図版③ 旧鍋島家住宅と庭園 長屋門の石垣 緋寒桜  
卷頭図版④ 文久二年(1862)建造 長屋門庭園側(写真提供 公益財団法人 文化財建造物保存技術協会)  
万延元年(1860)建造 隠居等(写真提供 公益財団法人 文化財建造物保存技術協会)  
卷頭図版⑤ 上段 長屋門出土遺物 下段 主屋・隠居棟出土遺物

本文中図版(モノクロ)

14頁 北側石垣裏面石積みの変化 石垣基礎かさ上げ状況 西側へのびる石垣基礎と旧入口硬化面  
北側石垣表面 南側石垣裏面

30頁 第二面隠居棟主要部

図版1(モノクロ)

遺跡周辺地域上空写真(昭和36年・1961国土地理院)

図版5

遺跡上空写真(平成10年・1998国土地理院 モノクロ)

遺跡上空写真(平成15年・2003国土地理院 モノクロ)

遺跡上空写真南より(平成23年・2011 カラー)

図版2(モノクロ)

遺跡上空写真(昭和22年・1947頃米軍撮影)

図版6(カラー)

調査区上空写真(平成23年・2011)

図版3(モノクロ)

遺跡上空写真(昭和36年・1961国土地理院)

図版7(カラー)

上段

長屋門第一面全景(南から)

図版4

下段

長屋門作業風景

遺跡上空写真(昭和44年・1969国土地理院 モノクロ)

長屋門3区木札出土状況

遺跡上空写真(昭和49年・1974国土地理院 カラー)

長屋門土師器②出土状況

遺跡上空写真(昭和54年・1979国土地理院 モノクロ)

長屋門作業風景

遺跡上空写真(昭和57年・1982国土地理院 モノクロ)

遺跡上空写真(昭和62年・1987国土地理院 モノクロ)

遺跡上空写真(平成4年・1992国土地理院 モノクロ)

図版8 (カラー)

上段

長屋門8区SX-1 (長屋門) 半裁状況 (西から)

長屋門6区SX-2 (長屋門) 半裁状況 (西から)

長屋門石垣裏込め

長屋門7区サブトレンチ石垣検出状況

下段

長屋門第二面全景 (北から)

主屋栗石地業

主屋作業風景

主屋16区埋め甕遺構

主屋13区石列・溝状遺構

図版9 (カラー)

上段

長屋門8区北下屋部栗石地業

長屋門2区帶状石列

長屋門帶状石列遺構 (北から)

長屋門門部硬化面

下段

長屋門4区サブトレンチ石列状遺構

図版12 (カラー)

主屋14区SX-13半裁状況 (北から)

主屋16区洗い場遺構

主屋15区南側土層堆積状況

主屋16区サブトレンチ石列・瓦列遺構

隠居棟 (浴室部) 17・18区第一面全景

隠居棟 (浴室部) 18区土層堆積状況 (東から)

隠居棟 (主要部) 19・20・21・22区第一面全景

隠居棟 (主要部) 作業風景

図版10 (カラー)

上段

長屋門8区サブトレンチ石積み状遺構

下段

長屋門8区サブトレンチ南側土層堆積状況

長屋門8区サブトレンチ北側土層堆積状況

長屋門現地説明会

長屋門現地説明会

図版13 (カラー)

隠居棟 (主要部) 22区土師器No.3 上面

隠居棟 (主要部) 22区土師器No.3 下面

隠居棟 (主要部) 19区現基礎No.46 (南から)

隠居棟 (主要部) 20区現基礎No.6 (北から)

隠居棟 (主要部) 17区SX-27検出状況 (北から)

隠居棟 (主要部) 17区SX-27半裁状況 (東から)

隠居棟 (主要部) 21区SX-24検出状況 (南から)

隠居棟 (主要部) 21区SX-24半裁状況 (南から)

図版11 (カラー)

上段

主屋13・14・15・16区第一面全景 (北から)

下段

図版14 (カラー)

上段

隠居棟 (主要部) 第四面21区・22区

下段

隠居棟 (主要部) 21区南側土層

隠居棟 (主要部) 21区SX-33 (東から)

主屋・隠居棟現地説明会

主屋・隠居棟現地説明会

図版 15 (カラー)

長屋門出土遺物 第 14 図

図版 16 (カラー)

長屋門出土遺物 第 15 図

図版 17 (カラー)

長屋門出土遺物 第 16 図

図版 18 (カラー)

長屋門出土遺物 第 17 図

図版 19 (カラー)

主屋・隠居棟出土遺物 第 32 図

図版 20 (カラー)

主屋・隠居棟出土遺物 第 33 図

図版 21 (カラー)

主屋・隠居棟出土遺物 第 34 図

図版 22 (カラー)

主屋・隠居棟出土遺物 第 35 図

図版 23 (カラー)

TP-1、TP-2 右側が鶴亀城（神代城）跡

TP-1 北側壁面土層

TP-2 北側壁面土層 巨礫の検出

TP-3 表土除去

TP-3 調査風景 後ろは 22 年度調査の長屋門

TP-3 SK-1 検出状況

TP-3 SK-1 検出状況

TP-3 SK-1 内部瓦礫検出状況

図版 24 (カラー)

TP-3 SK-1 半裁状況

TP-3 SK-1 完掘状況

TP-3 SK-2 検出状況

TP-3 石列（通路跡）検出状況

TP-3 石列（通路跡）検出状況

TP-3 掘立柱建物検出状況

TP-3 掘立柱建物 柱穴検出状況

TP-3 掘立柱建物 柱穴半裁状況

図版 25 (カラー)

TP-3 南側土層堆積状況

TP-3 南側土層 第 4 層中巨礫検出状況

TP-3 第 7 層 流木検出状況

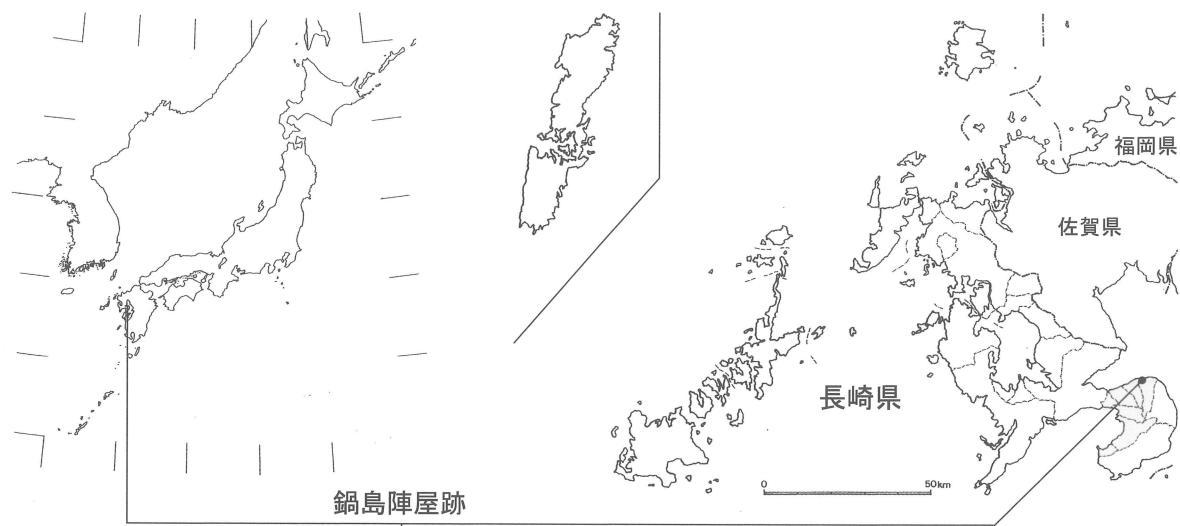
TP-3 SK-1 検出遺物

TP-3 SK-1 検出遺物（内面）

TP-3 SK-1 検出遺物（外側）

TP-3 SK-1 出土遺物

TP-3 SK-1 出土遺物 断面四角形の鉄釘



有明海



第1図 遺跡位置図 (1/20,000)